

2024年3月期 第3四半期 決算概要

2024年2月7日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹



CAFOの武藤でございます。2024年3月期 第3四半期の決算概要を説明いたします。

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ 売上収益

- 四半期・累計ともに過去最高
- 心臓血管と血液・細胞テクノロジーが二桁伸長して牽引

■ 営業利益

- 四半期・累計ともに過去最高
- 収益改善策（価格政策・原価低減）が計画通り進捗

■ 業績予想の上方修正

- 為替影響を反映した修正（Q4想定レート：USD144/EUR157）
- 売上・利益ともに過去最高更新を見込む

本決算のハイライトです。

四半期、累計で売上収益、営業利益ともに過去最高となりました。グローバルで好調を維持し、累計の売上収益と営業利益、当期利益ともに2桁伸長しています。

為替を除いても売上収益は+6%の増収、営業利益は+9%の増益となりました。

利益面では、インフレ影響の緩和に加え、値上げや収益改善策が功を奏し、為替を除いても通期の業績予想に対しても順調な進捗となりました。今回円安による業績へのプラスの為替影響が継続しているため、通期の業績予想を上方修正しました。その結果、売上・各利益で過去最高を更新する見通しです。

次のスライドをお願いします。

P&L実績

- 売上収益：グローバルで強い需要が継続し、TIS、血液センター向けビジネス、血管が二桁伸長して牽引
- 営業利益：収益改善策の順調な進捗。販管費は、北米の治療デバイス拡販に向けた人員増強を継続し、増加

金額 (億円)	FY22 Q3累計	FY23 Q3累計	増減率	為替除く増減率	FY22 Q3	FY23 Q3	増減率
売上収益	6,180	6,830	11%	6%	2,147	2,391	11%
売上総利益 (%)	3,183 (51.5%)	3,548 (52.0%)	11%	7%	1,114 (51.9%)	1,266 (52.9%)	14%
一般管理費 (%)	1,785 (28.9%)	2,022 (29.6%)	13%	8%	615 (28.6%)	707 (29.6%)	15%
研究開発費 (%)	456 (7.4%)	491 (7.2%)	8%	4%	159 (7.4%)	173 (7.3%)	9%
その他収益費用	-7	20	-	-	35	5	-86%
営業利益 (%)	935 (15.1%)	1,055 (15.5%)	13%	9%	375 (17.5%)	390 (16.3%)	4%
調整後営業利益 (%)	1,096 (17.7%)	1,197 (17.5%)	9%	6%	392 (18.2%)	441 (18.5%)	13%
税引前利益 (%)	921 (14.9%)	1,057 (15.5%)	15%		375 (17.5%)	393 (16.4%)	5%
当期利益 (%)	702 (11.4%)	799 (11.7%)	14%		299 (13.9%)	298 (12.5%)	-0%

期中平均レート(USD/EUR)

136円/141円

143円/155円

142円/144円

148円/159円

©TERUMO CORPORATION

4 / 13



PL実績です。

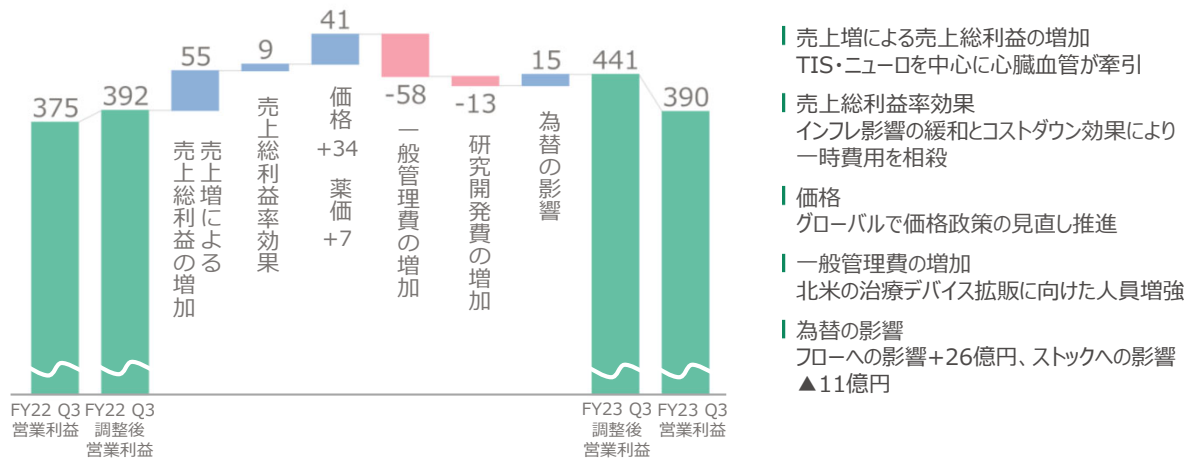
売上収益は、心臓血管のTISと血管、血液・細胞テクノロジーの血液センター向けビジネスが引き続き二桁伸長して牽引しました。

営業利益は、価格政策見直しと全社コストダウンの効果が想定通りに出てきているほか、北米の治療デバイス拡販に向けた人員増強も継続しました。

Q2から引き続き、Q3三か月の粗利率と調整後営業利益率が、いずれも対前年で改善しています。次のスライドで詳細をご説明します。

営業利益増減分析（Q3）：収益改善策のさらなる進展

(億円)



©TERUMO CORPORATION

5 / 13

TERUMO

Q3三か月の前年同期比による、利益増減の分析です。

まず「売上総利益率効果」は、一時費用として、血液・細胞テクノロジーに属する一部生産設備の見直しにより減損を計上しましたが、インフレ影響の緩和と、予定していたコストダウンや事業ミックス改善の効果によって相殺しました。

「価格」では、下期に拡大した価格政策見直しの効果が表れています。

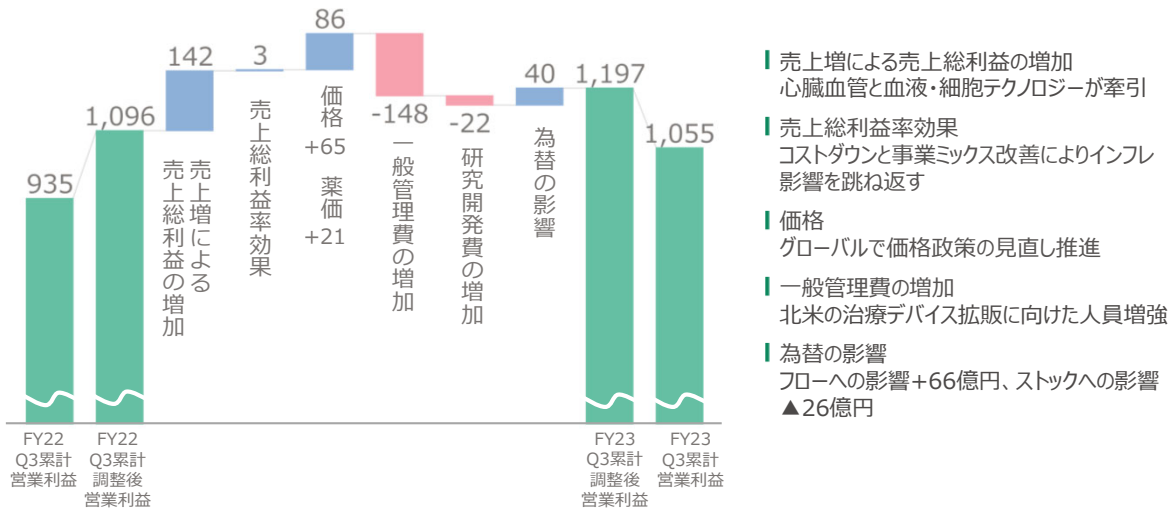
「一般管理費の増加」は、上期に引き続き、北米のニューロやステントグラフト等、治療デバイスの拡販に向けた人員増強を継続し、想定通りですが、増加しています。

こうしたQ3の結果を踏まえ、Q3累計での利益増減も、各項目で順調に進捗しています。

次のスライドでポイントをご説明します。

営業利益増減分析（Q3累計）：各項目で順調な進捗

(億円)



©TERUMO CORPORATION

6 / 13

TERUMO

Q3累計での利益増減です。

「売上増による売上総利益の増加」は心臓血管と血液・細胞テクノロジーの好調により、想定以上の進捗。

「売上総利益率効果」は、先ほどご説明したQ3の状況を踏まえ、上期時点のマイナスからプラスに転じました。

「一般管理費の増加」についても、要因は先ほどご説明したとおりです。

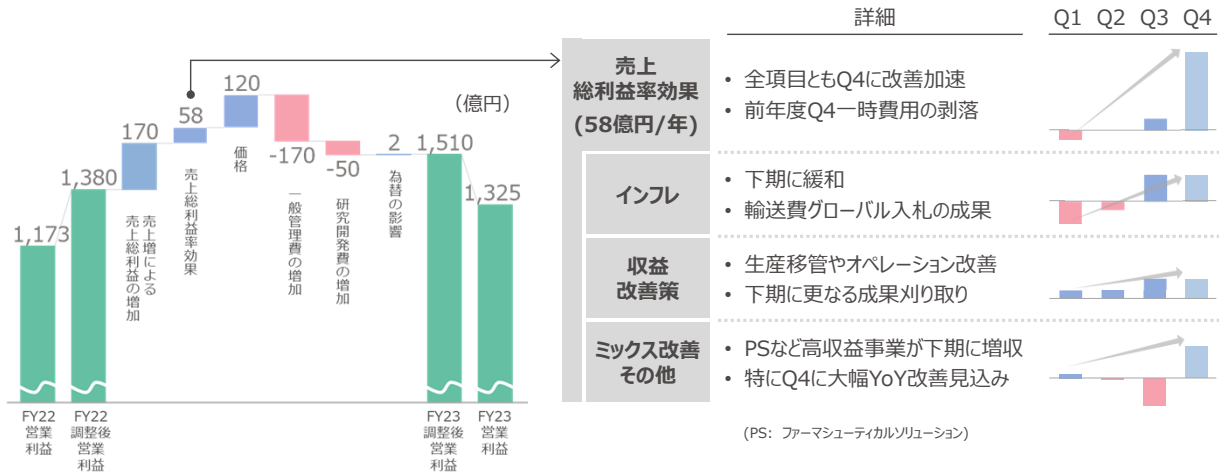
「為替の影響」の内訳は、フローに+66億円、ストックに▲26億円でした。

次のスライドをお願いします。

売上総利益率効果の四半期推移

FY23 業績予想 利益増減 (2023年5月に開示)

項目別・四半期ごとの内訳



©TERUMO CORPORATION

7 / 13

TERUMO

スライド左側のウォーターフォールチャートは、5月に発表した通期の業績予想の利益増減です。

この中の「売上総利益率効果」について、Q1からQ3までの実績と、Q4の見通しの金額を、スライド右側の上段に棒グラフで示しています。

四半期ごとに右肩上がりの改善を継続し、Q4は、前年度の一時費用が剥落することで、より大きなプラスを見込んでいます。

下段には、項目別の内訳を示しています。

インフレ、収益改善施策、ミックス改善・その他 の3項目です。

Q3では、血漿イノベーション事業において一時費用を計上しましたが、インフレ影響の緩和や、輸送費のグローバル入札、生産コスト低減によるプラス効果が上回り、全体として順調な進捗となりました。

次のスライドをお願いします。

地域別売上収益：米州・欧州で治療デバイスが好調、成長率ではアジアが牽引

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー
TIS: 血管内治療システム、ニューロ: ニューロバスキュラー、CV: カーディオバスキュラー)

FY23 Q3累計 地域構成比	売上収益 (億円)		FY23 Q3累計 増減率	コメント	
	Q3累計	Q3			
35%	米州	FY21 1,612 FY22 2,124 FY23 2,382	549 743 845	12% (7%)	C&Vはニューロ・血管が二桁伸長。TBCTではQ4に予定していた受注の前倒しによる増収
23%	日本	1,550 1,570 1,587	526 558 576	1%	C&VのTIS・血管、TBCTの血液センター向けビジネスが牽引。TMCSは栄養事業の売却と、体温計の需要一巡による減収
20%	欧州	1,040 1,186 1,390	357 414 494	17% (7%)	C&VではTISが二桁伸長、ニューロ・血管が20%以上伸長して牽引
9%	中国	446 566 601	145 183 190	6% (5%)	TISと血液センター向けビジネスが牽引。Q3のTISはアクセス製品の集中購買に伴う代理店の買い控えにより減速。ニューロではFY22下期に新規代理店向けの初期在庫売上を計上しQ3単体・累計ともに減収
13%	アジア他	586 733 870	212 249 285	19% (14%)	血液センター向けビジネスでQ4に予定していた入札の前倒しによる増収。C&VではTISとCVが牽引

©TERUMO CORPORATION

8 / 13

TERUMO

地域別の売上です。主要市場の米州・欧州においてはニューロやステントグラフト等の治療デバイスが引き続き好調。また、成長率ではアジアや中東などの新興国が牽引しました。

日本は、栄養事業の売却に伴う売上減少や、体温計の需要一巡といったマイナス要因が継続しているものの、心臓血管や血液・細胞テクノロジーが牽引し、全体では前年を上回りました。

中国では、TISのアクセス製品が集中購買の対象となったことで、Q3には代理店による買い控えの影響がありました。新価格の適用開始は延期されており、3月以降となる見通しです。

アジアの血液・細胞テクノロジーは、Q4に予定されていた入札が上期およびQ3に前倒しされたことで、大幅に売上が増加しました。

次のスライドをお願いします。

C&V：米州・欧州が牽引し売上好調を継続。利益も計画通り進捗

(C&V: 心臓血管、TIS: 血管内治療システム、ニューロ: ニューロバスキュラー、CV: カーディオバスキュラー)

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減
売上収益	()内は為替影響除く						TIS : グローバルでアクセス製品と治療デバイスの需要が拡大。中国では集中購買の買い控え影響を受けるも、二桁伸長を維持	+281
	2,944	3,589	4,077	1,001	1,235	1,420		
調整後 営業利益	()内は為替影響除く						ニューロ : 北米・欧州で脳梗塞デバイスのシェアを回復。中国は代理店再編に伴う初期在庫売上があった昨年からは減少しているものの、需要は堅調	+73
	723	836	920	215	307	344		
利益率	()内は為替影響除く						CV : 日本は装置需要が一巡するも、北米・アジア向けの装置売上好調に推移	+61
	25%	23%	23%	22%	25%	24%		
							血管 : 北米・欧州が牽引。ハイブリッド製品とステントグラフトの販売拡大が継続	+72
							利益 : 増収と収益改善策の効果で増益。販管費は、北米の治療デバイス拡販に向けた人員増強により増加	

©TERUMO CORPORATION

9 / 13



カンパニー別に業績をご説明します。まず、心臓血管です。
 売上は、為替を除いて+8%伸長と、事業では血管とニューロ、地域では米州・欧州を中心に、グローバルで好調でした。
 利益は、増収に加え、コストダウン効果の拡大により伸長しています。
 次のスライドをお願いします。

TMCS：栄養事業の売却や体温計の需要一巡が影響するも増収増益

(TMCS: メディカルケアソリューションズ)

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減
売上収益	()内は為替影響除く						HCS ホスピタルケア ソリューション： LCS ライフケア ソリューション： PS ファーマシューティカル ソリューション：	+29
	1,387	1,455	1,473	468	517	533		
調整後 営業利益	193	126	160	59	45	77	LCS ライフケア ソリューション： PS ファーマシューティカル ソリューション：	-16
			27% (25%)			72%	体温計の需要が一巡。日本の自己血糖測定向け製品群は競争激化により減収	
利益率	14%	9%	11%	13%	9%	14%	計画通り進捗	+4
							利益	インフレ影響の緩和と価格政策見直しの効果による大幅増益

©TERUMO CORPORATION

10 / 13



TMCS、メディカルケアソリューションズです。

売上は、感染対策製品の需要一巡によるマイナス影響が継続しているものの

ホスピタルケアソリューションでは、インフレ影響への対策として実施してきた、価格政策見直しの効果もあり増収を確保。

ファーマシューティカルソリューションも計画通りに進捗しており、TMCS全体では、ほぼ前年同レベルまで押し戻しています。

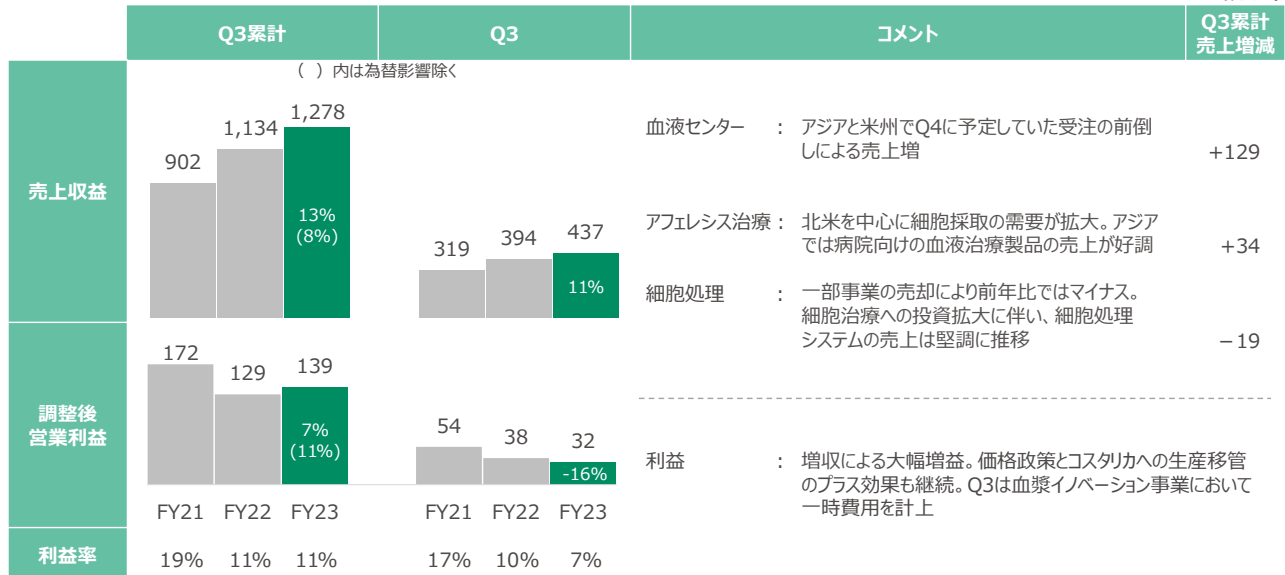
利益については、インフレ緩和と価格政策の効果により、二桁増益となりました。

次のスライドをお願いします。

TBCT：血液センター向けビジネス好調による増収増益

(TBCT: 血液・細胞テクノロジー)

(億円)



©TERUMO CORPORATION

11 / 13



最後にTBCT、血液・細胞テクノロジーです。

売上収益は、血液センター向けビジネスにおいて、アジアと米州でQ4に予定されていた受注が、上期およびQ3に前倒しされたことで、想定よりも大きな伸長率を維持しました。

利益は、Q3では先ほどご説明した一時費用を計上していますが、増収と収益改善策の効果により、Q3累計では金額、マージン率ともに通期予想を上回る進捗となっています。

次のスライドをお願いします。

為替影響を反映し、業績予想を修正

金額 (億円)	FY22実績 (A)	FY23 従来予想 (B)	FY23 修正予想 (C)	修正額 (C)-(B)	()内は為替影響除く
					増減率 (C)÷(A)
売上収益	8,202	8,540	9,060	+520	+10% (+6%)
営業利益	1,173	1,325	1,400	+75	+19% (+14%)
(%)	14.3%	15.5%	15.5%		
調整後営業利益	1,380	1,510	1,575	+65	+14% (+10%)
(%)	16.8%	17.7%	17.4%		
当期利益	893	1,010	1,050	+40	+18%
通期 業績予想前提レート(USD/EUR)		130円/145円	143円/156円		
Q4 業績予想前提レート(USD/EUR)		130円/145円	144円/157円		

カンパニー別 金額 (億円)	売上収益					調整後営業利益				
	FY22 実績 (A)	FY23 従来予想 (B)	FY23 修正予想 (C)	修正額 (C)-(B)	増減率 (C)÷(A)	FY22 実績 (A)	FY23 従来予想 (B)	FY23 修正予想 (C)	修正額 (C)-(B)	増減率 (C)÷(A)
C&V	4,806	5,038	5,445	+407	+13% (+8%)	1,122	1,205	1,240	+35	+11%
TMCS	1,917	2,000	1,973	-27	+3% (+2%)	148	205	210	+5	+42%
TBCT	1,476	1,500	1,640	+140	+11% (+6%)	112	125	153	+28	+37%

©TERUMO CORPORATION

12 / 13



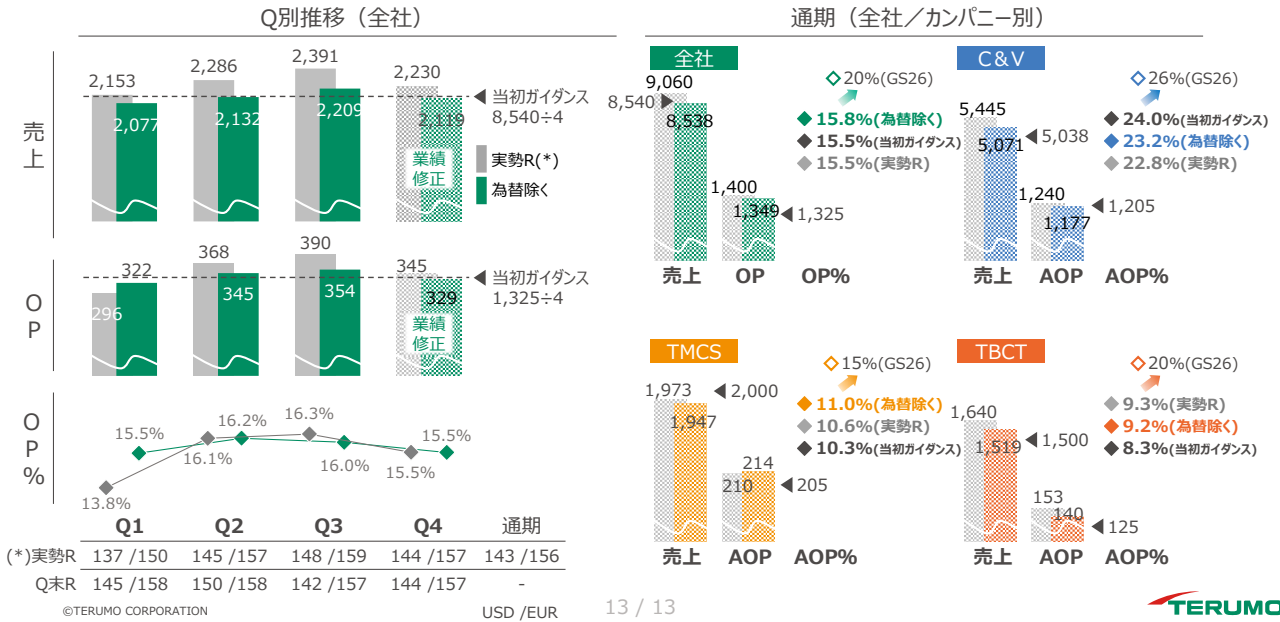
Q3累計までの為替によるプラス影響を反映し、通期の業績予想を上方修正します。

心臓血管と血液・細胞テクノロジーは、順調な売上拡大に伴い、売上・利益ともに上方修正します。

メディカルケアソリューションズは、売上は感染対策関連製品の需要一巡を受けて下方修正となりますが、インフレ影響の緩和や輸送費のグローバル入札の効果により、利益は上方修正します。

次のスライドをお願いします。

業績予想の上方修正（為替影響）



最後のスライドです。

今回の業績予想修正は、主に為替影響の反映による上方修正ですが、四半期ごと、カンパニーごとに個別の要因も加味しています。

このスライドではグレーの棒グラフをQ3までは実勢レート、Q4は予想レートで今回更新した新業績予想を表し、色付きの棒グラフは年初想定レート（130/145）で換算した数字を記載しています。今回修正した分が為替によるものか、それ以外によるものかを見えるようにしています。ご活用下さい。

Q3においては、収益改善策の着実な進展を示すことができました。Q4にも、予定している効果を確実に発現させ、業績予想を達成したいと思えます。

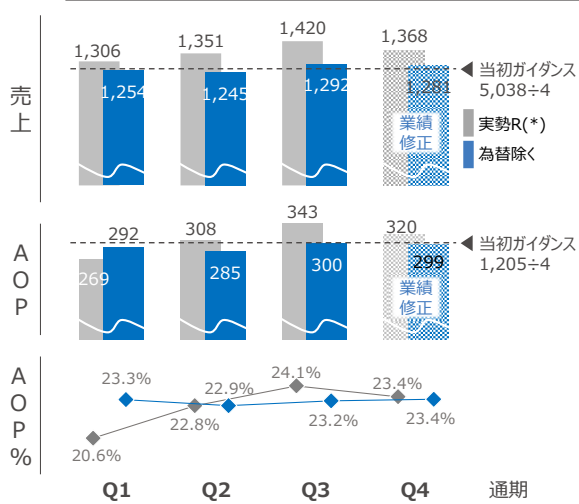
以上で私からの説明を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

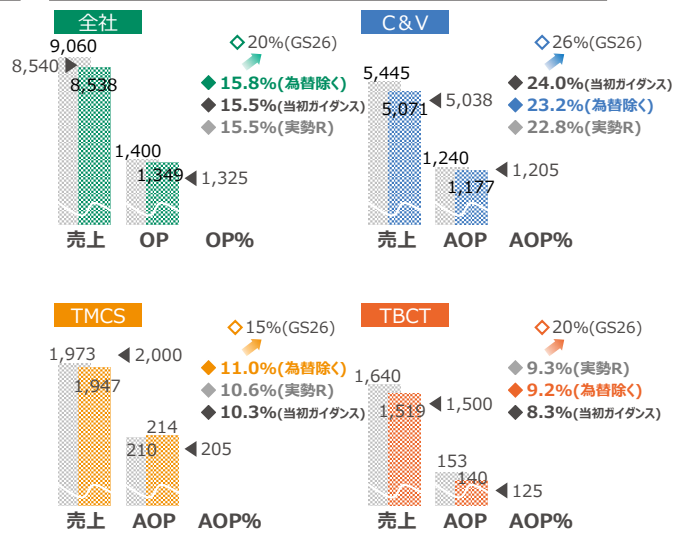
参考資料

C&V : 業績予想の上方修正 (為替影響)

Q別推移 (C&V)



通期 (全社/カンパニー別)

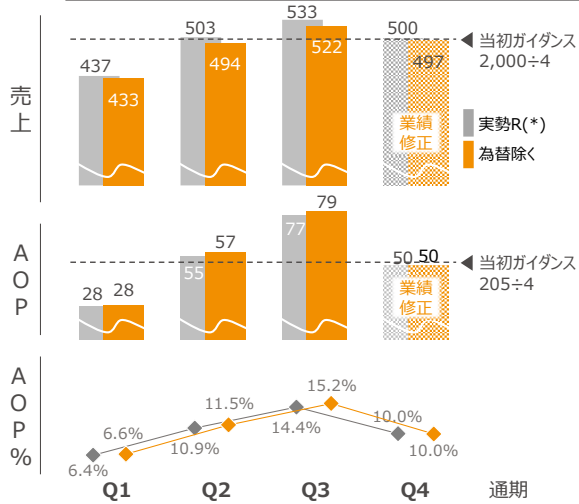


(*)実績R

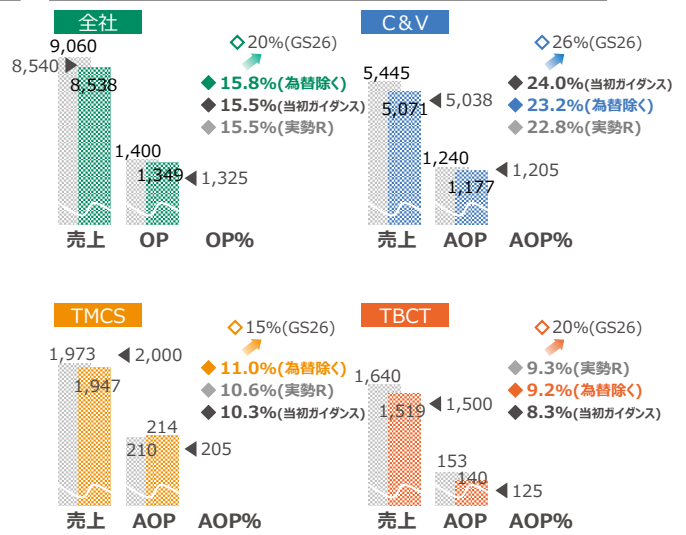
137 / 150	145 / 157	148 / 159	144 / 157	143 / 156
Q末R	145 / 158	150 / 158	142 / 157	144 / 157

TMCS : 業績予想の上方修正 (為替影響)

Q別推移 (TMCS)



通期 (全社/カンパニー別)



Q1	Q2	Q3	Q4	通期
137 / 150	145 / 157	148 / 159	144 / 157	143 / 156
145 / 158	150 / 158	142 / 157	144 / 157	-

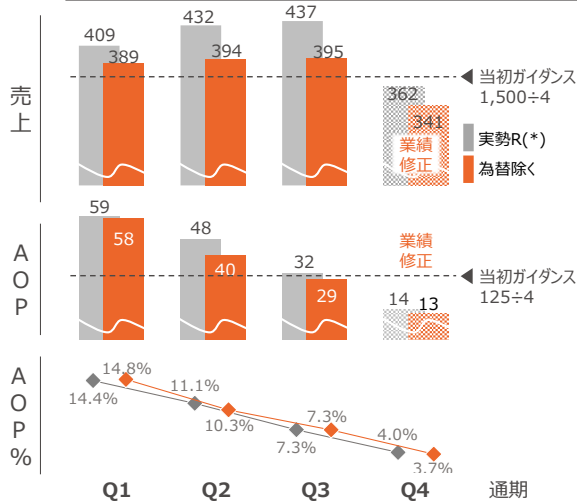
©TERUMO CORPORATION

USD / EUR

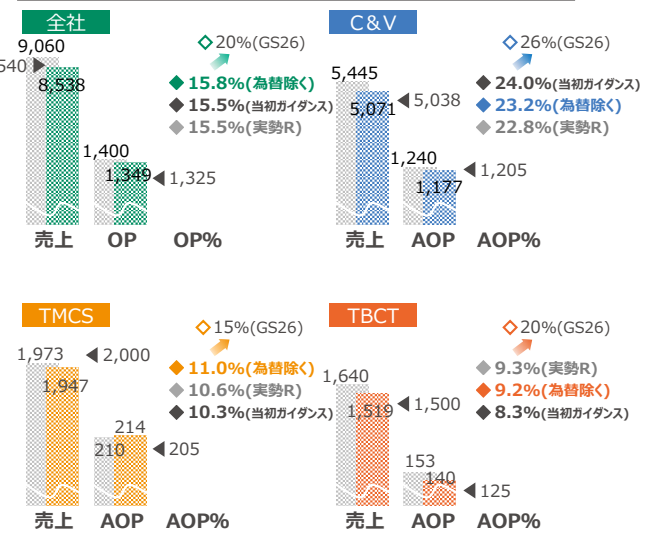


TBCT : 業績予想の上方修正 (為替影響)

Q別推移 (TBCT)



通期 (全社/カンパニー別)



(*)実績R 137 / 150 145 / 157 148 / 159 144 / 157 143 / 156
 Q末R 145 / 158 150 / 158 142 / 157 144 / 157 -

売上明細 (地域別・事業別)

2023年度 第3四半期 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for the Third Quarter of FY2023

(百万円/millions of yen)

		Q3 YTD FY2023							Q3 YTD FY2022							増減率 YoY %							
		米国 America	欧州 Europe	中国 China	アジア Asia and other	海外 Overseas	日本 Japan	合計 World Wide	米国 America	欧州 Europe	中国 China	アジア Asia and other	海外 Overseas	日本 Japan	合計 World Wide								
		ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf	ndsf								
心臓血管 カンパニー	TIS TIS Neurovascular Cardiovascular Vascular Graft	166,166	16,462	84,987	27,249	216,133	283,957	112,727	11,275	62,130	17,075	27,262	117,174	243,266	268,970	117.7%	89.2%						
Cardiac and Vascular Company		252,990	34,524	45,197	37,462	329,629	368,379	174,942	14,476	109,926	19,176	45,426	45,128	367,842	401,158	4.0%	109.7%						
メディカルケア ソリューションズ カンパニー	Hospital Care Solutions Life Care Solutions Pharmaceutical Solutions	7,822	1,831	1,139	11,899	23,214	26,420	8,822	12.0%	2,970	2.0%	1,562	2.2%	13,406	11.7%	26.760	0.0%	103.653	2.9%	113.0%			
Medical Care Solutions Company		16,062	6,659	2,754	13,955	35,261	110,149	14,639	6.6%	8,854	3.4%	3,653	10.0%	25,922	14.2%	37,862	7.1%	109,417	-0.7%	147,379	1.2%	21.6%	
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	Blood Center Solutions Therapeutic Solutions Cell Therapy Technologies	88,993	19,714	6,793	11,679	76,480	7,865	84,346	13,777	14.1%	22,260	13.6%	7,170	5.6%	24,804	21.4%	88,741	16.0%	8,457	7.3%	97,199	11.2%	14.2%
Blood and Cell Technologies Company		49,372	25,648	8,136	21,961	105,068	8,329	113,398	53,739	17.6%	29,241	14.0%	8,522	4.0%	27,668	27.2%	118,863	13.1%	8,936	7.1%	127,799	12.7%	19.7%
その他	Others	-	-	-	-	188	184	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	Total	232,062	118,615	56,638	78,042	469,945	187,993	338,202	12.2%	128,822	17.2%	68,042	4.1%	86,886	16.0%	624,247	13.7%	158,684	1.0%	483,951	16.1%	100.0%	
売上比率	% to Total	51.4%	19.2%	9.2%	11.9%	74.6%	26.4%	100.0%	54.9%	28.4%	4.8%	22.7%	22.7%	76.8%	23.2%	100.0%							

(換算平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD:¥136.00)

(EUR:¥161.80)

(USD:¥142.33)

(EUR:¥155.32)

2023年度見通し

Guidance for FY2023

		FY2023		増減率 YoY %
		売上 Revenue	利益 Profit	
心臓血管カンパニー	Cardiac and Vascular Company	544,500	13.3%	69.2%
メディカルケアソリューションズカンパニー	Medical Care Solutions Company	197,200	-2.9%	21.8%
血液・細胞テクノロジーカンパニー	Blood and Cell Technologies Company	164,000	11.7%	18.2%
その他	Others	200	-10.9%	0.0%
合計	Total	906,000	10.2%	100.0%

(換算平均為替レート)

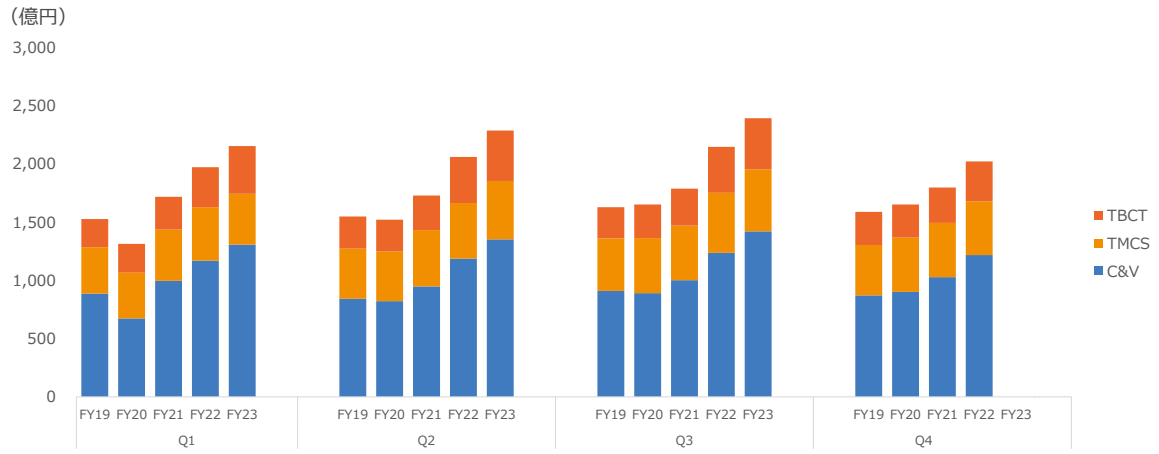
(Average Exchange Rates)

(USD:¥142)

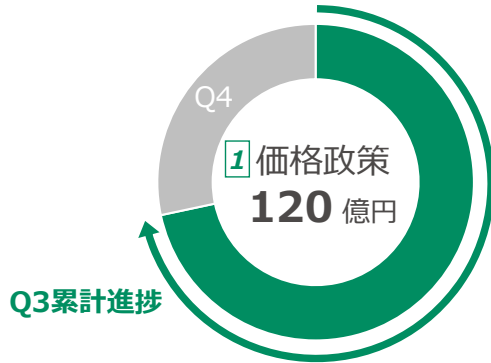
(EUR:¥160)

売上収益の四半期推移

■ FY23 Q3：FY22 Q3との比較では+11%。FY23 Q2との比較では+5%



収益改善策の進捗状況



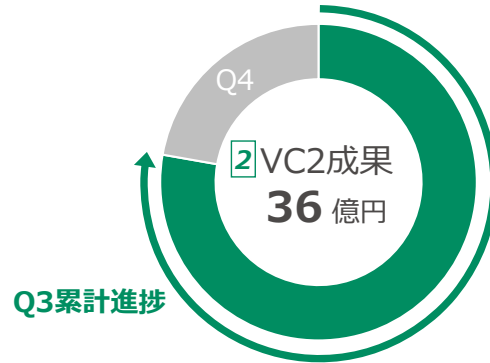
Q3累計
実績

グローバルで価格政策を見直し

Q4
見通し

継続的な効果を見込む

©TERUMO CORPORATION



VC2: 全社横断の原価・販管費低減プロジェクト

コストリカ移管によるコストダウンに加え、
国内工場におけるオペレーション改善

国内工場における自動化・効率化や
オペレーション改善による更なる成果刈り取り

20 / 13

TERUMO

P&L（四半期推移）

（億円）

	FY22 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY23 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	
売上収益	2,147	2,022	2,153	2,286	2,391	
売上総利益	1,114 (51.9%)	990 (49.0%)	1,098 (51.0%)	1,185 (51.8%)	1,266 (52.9%)	
一般管理費	615 (28.6%)	597 (29.5%)	651 (30.2%)	664 (29.0%)	707 (29.6%)	
研究開発費	159 (7.4%)	160 (7.9%)	154 (7.2%)	164 (7.2%)	173 (7.3%)	
その他収益費用	35	5	3	12	5	
営業利益	375 (17.5%)	238 (11.8%)	296 (13.8%)	368 (16.1%)	390 (16.3%)	
調整後営業利益	392 (18.2%)	284 (14.1%)	345 (16.0%)	411 (18.0%)	441 (18.5%)	
四半期 平均レート	USD EUR	142円 144円	132円 142円	137円 150円	145円 157円	148円 159円

販管費（四半期推移）

(億円)

		FY22 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY23 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
人件費		316	307	336	349	371
販促費		52	45	49	44	54
物流費		49	44	47	46	49
償却費		60	58	58	61	65
その他		138	143	161	164	168
一般管理費		615	597	651	664	707
(売上比率)		(28.6%)	(29.5%)	(30.2%)	(29.0%)	(29.6%)
研究開発費		159	160	154	164	173
(売上比率)		(7.4%)	(7.9%)	(7.2%)	(7.2%)	(7.3%)
合計		774	757	805	828	881
(売上比率)		(36.0%)	(37.4%)	(37.4%)	(36.2%)	(36.8%)
四半期	USD	142円	132円	137円	145円	148円
平均レート	EUR	144円	142円	150円	157円	159円

©TERUMO CORPORATION

22 / 13

 TERUMO

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY22 Q3累計	FY23 Q3累計	増減	増減率	為替除く 増減率	FY22 Q3	FY23 Q3	増減	増減率
人件費	926	1,056	130	14%	9%	316	371	55	18%
販促費	142	147	5	3%	-1%	52	54	2	4%
物流費	140	142	2	1%	-3%	49	49	-0	-1%
償却費	175	184	9	5%	2%	60	65	5	8%
その他	402	493	91	23%	18%	138	168	30	22%
一般管理費	1,785	2,022	236	13%	8%	615	707	92	15%
（売上比率）	(28.9%)	(29.6%)				(28.6%)	(29.6%)		
研究開発費	456	491	35	8%	4%	159	173	15	9%
（売上比率）	(7.4%)	(7.2%)				(7.4%)	(7.3%)		
合計	2,241	2,513	272	12%	8%	774	881	107	14%
（売上比率）	(36.3%)	(36.8%)				(36.0%)	(36.8%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY22 Q3累計	FY23 Q3累計	FY22 Q3	FY23 Q3
調整後営業利益	1,096	1,197	392	441
調整① 買収無形資産の償却費	-144	-147	-49	-50
調整② 一時的な損益	-17	5	32	-1
営業利益	935	1,055	375	390

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の内訳	FY22 Q3累計	FY23 Q3累計
事業再編費用	-16	-11
細胞処理事業の一部売却に関わるのれんの減損	-36	-
栄養事業の事業等売却益	39	-
オリンパステルモバイオマテリアル株式売却益	-	13
その他	-4	3

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY20	FY21	FY22	FY23 Q3累計	FY23予想
設備投資	772	692	758	514	800
償却費	484	532	635	510	680
買収無形償却費	146	161	188	147	190
それ以外	338	371	447	363	490

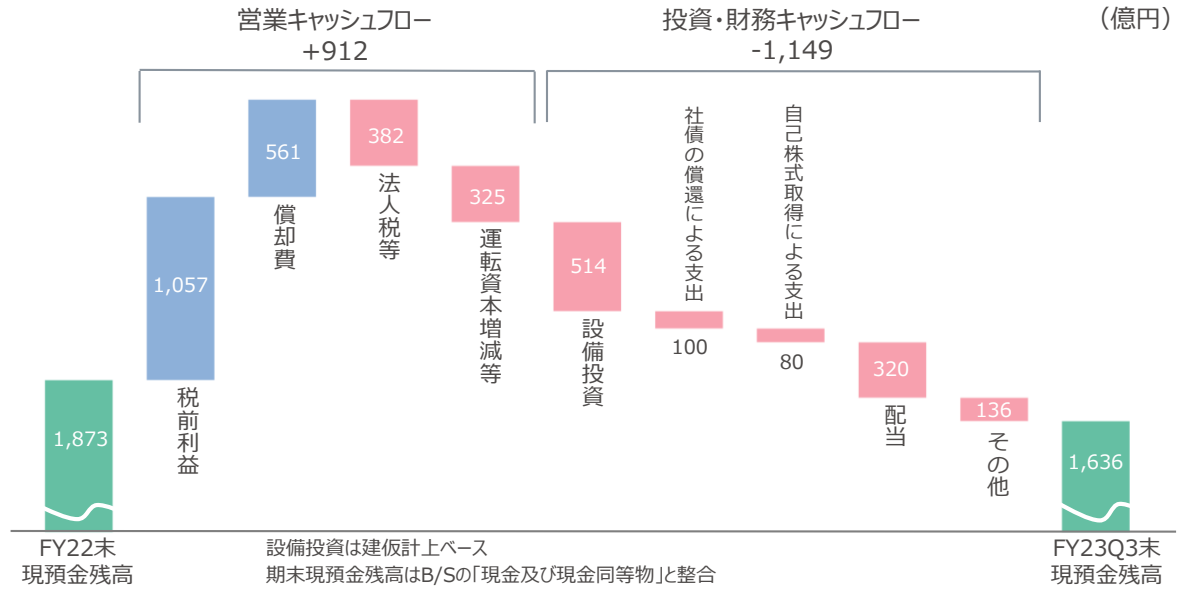
設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

■ FY23 Q3累計（514億円）：主にTIS、ニューロバスキュラー、ファーマシューティカルソリューション、血液・細胞テクノロジーの増産設備、原料血漿採取関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続、CDMO等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設に向けた投資

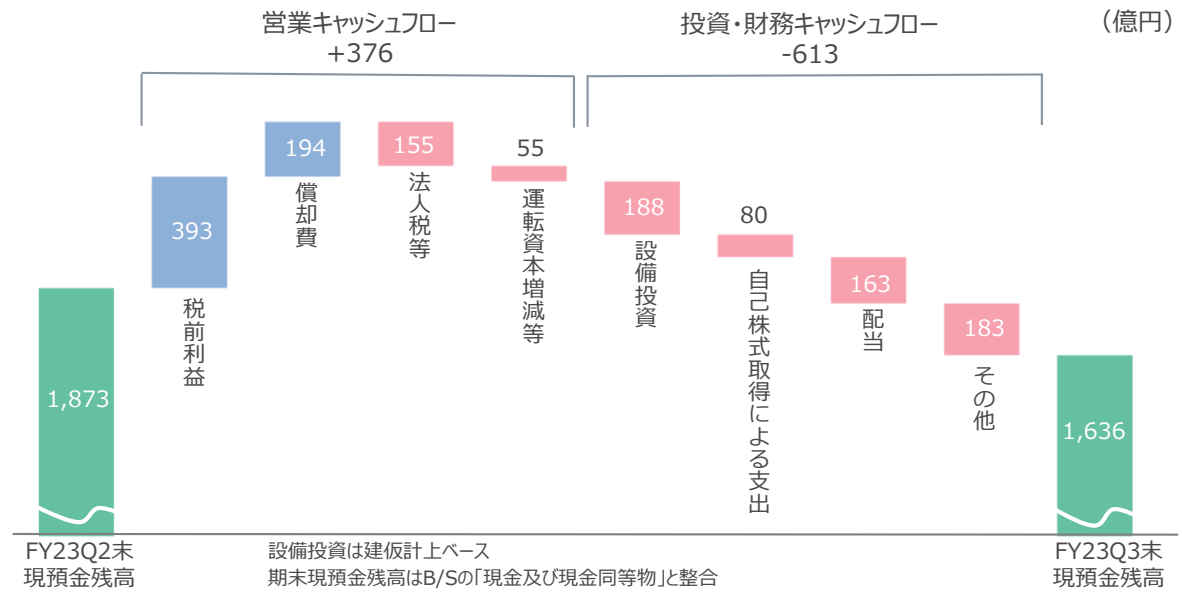
■ FY23の資本効率率はROE 8.8%、ROIC 7.2%を見通す

	FY20	FY21	FY22	FY23 Q3累計	FY23予想
研究開発費	491	518	616	491	650

キャッシュフロー（Q3累計）



キャッシュフロー（Q3）



FY23 Q3累計 為替影響の内訳（フロー・ストック）

■ 対FY22 Q3累計 為替影響 +40億円

■ フロー +66億円：米ドル高・ユーロ高によるプラス効果

レート（円）	FY22 Q3累計 期中平均	FY23 Q3累計 期中平均	差異
USD	136	143	7
EUR	141	155	14
中国元	19.9	20.0	0.1

■ ストック -26億円：棚卸資産未実現利益消去への為替影響

・期中平均と期末日レートの差が拡大 → マイナス影響

レート（円）	FY22 3月末	FY23 12月末	差異
USD	134	142	8
EUR	146	157	11

為替感応度

1円の円安に対する年間影響額（フロー） （億円）

	USD	EUR	中国元
売上収益	22	11	39
調整後営業利益	0	5	23

1円の円安に対する影響額（ストック）

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-2.5	-0.6	-2.0

